

東京スカイツリー観光グッズの開発

平山 明浩*¹⁾ 加藤 貴司*¹⁾ 堀江 暁*¹⁾ ギニス(姓)ミハイル(名)*²⁾ 青山 裕子*²⁾

Product development of Tokyo sky tree sightseeing goods

Akihiro Hirayama*¹⁾, Takashi Kato*¹⁾, Akira Horie*¹⁾, Michail Gkinis*²⁾, Yuko Aoyama*²⁾

キーワード：スカイツリー，観光グッズ

Keywords：Tokyo sky tree, sightseeing goods

1. はじめに

2012年春，墨田区に世界最大級の電波塔「東京スカイツリー」が誕生する。墨田区では，地域活性化のために，スカイツリーを中心とする墨田区の特徴を生かした付加価値のある商品を具体的に開発できる中小企業を求めている。

そこで，スカイツリーと墨田区をコンセプトに新ブランドを立ち上げ，地域の魅力を発信できる新たなデザイン開発を行うために都内中小企業と共同研究し，具体的な観光グッズの製品開発を行った。

2. 内容

2.1 開発コンセプト 墨田区のイメージ(人, 場所, 建物, 伝統)を明確にし，子供にも解りやすく親しまれるような(温かく, 楽しくなる)デザイン開発。

2.2 ブランド名の開発

(1) ピッキーズドゥ(商標登録出願)の説明 ピッキーズはピックアップ, こだわりの意味。ドゥは2のことでピース(平和)を意味している。

(2) ロゴデザイン(図1)



図1. ロゴデザイン(ピッキーズドゥ)

2.3 製品のプロト設計とプロト開発 本研究のプロト設計では，スカイツリーをイメージしたイラスト画，デザイン画や観光グッズのサンプルなどから工場生産用のパターンメイキング(型紙作成・パターン作成)を行った。

パターン・型紙には，縫い代線や縫い合わせ位置，サイズ，裁断方向などを明記して縫製工場に提出して，そのままの状態縫製できる工業用パターンを作成⁽¹⁾した。

また，プロト開発では，プロト設計を行った型紙・パターンを使用して，開発商品の本生産を行う前の試作・サンプル作製(本生産使用生地，資材，縫い方，設備などを検討)を行った。すべての新商品につき量産工場に縫製仕様書を作成して製品化を行った。

*¹⁾ 墨田支所*²⁾ 株式会社ミハイル

2.4 開発製品群

(1) インクジェットプリントバック 墨田区の特徴的な建物・風景・人物等をモチーフに，ニードルパンチ技法(ベース生地の表層と，毛糸・フェルト等の下層材料をフェルト針の上下運動により絡ませ柄を作る技法)でデザイン表現し，さらに，インクジェットプリント⁽²⁾用にデザイン加工をし，生地にプリントして製品化を行った(図2)。



図2. インクジェットプリントバック(墨田区の四季を表現)

(2) すみだキャラクター鍋つかみ 墨田川・桜・花火・アサヒビール本社・相撲・国技館・江戸博物館・向島の芸者・スカイツリー・七福神等をモチーフにニードルパンチ・刺繍技術でピッキーズドゥのデザインコンセプト(子供にも解りやすく親しまれる)に合ったデザインを創作し，指1本毎に創作したキャラクターデザインを配置することによってグローブ全体では墨田区の特徴が解かる様に設計している(図3)。



図3. すみだキャラクター鍋つかみ

(3) すみだキャラクターキーホルダー 東武鉄道・桜・花火・アサヒビール本社・相撲・国技館・江戸博物館・向

島の芸者・スカイツリー・七福神等墨田区の特徴をハンドタッチ(ニードルパンチ, 刺繍技術)で表現し, 子供にも親しみ, 温もりが感じられるキーホルダーの開発を行った(図4)。



図4. すみだキャラクターキーホルダー

(4) 子供服用ニットパンツ ニット素材+トレンド素材の組み合わせによる衣服設計。中心サイズは身長 120cm, 人体に直接布をあて立体裁断によるシルエットを抽出した(図5, 図6)。

製品化工程はデザイン→生地選定→型紙作成→生地裁断→印付け→仮縫い→試着補正→縫製→仕上げ→製品化を行った。



図5. 前パンツ



図6. 後パンツ

(5) 子供用ニットタイ スカイツリーを柄としたニットタイの開発を行った。本研究では, 引き返しの技術で剣先を形成している。

サイズは, 身長 120cm の子供に合うように長さを設計し, 小剣・中つき・大剣のバランスは結ぶ時にノットが小さくなるようにしているのがデザインの特徴である(図7)。



図7. ニットタイ

(6) 子供用ニットベスト スカイツリーを模様化したベストの開発を行った。サイズは, 身長 120cm, 4本糸ウール100%のジャガード編み⁽³⁾。リンク縫製で製品化(図8)。



図8. スカイツリー柄ニットセーター

3. まとめ

本研究は, 都内中小企業より共同研究の申請を受け製品化を事業方針とし, デザイナーの意図するイメージを具現化するために, デザインの意見交換, 設計(型紙作成)・試作から商品化までのプロセスで発生する問題解決なども含め, トータル的な技術支援を行い, 以下に示すような観光グッズの製品開発を行った。

- (1) 新ブランド商標登録出願
 - (2) 21年度共同研究東京スカイツリー観光グッズの開発(6点)すべて製品化を行った。
 - (3) 墨田区主催の「すみだモダン」認定事業に出品
 - (4) 22年度共同研究を継続(新ブランドの充実)
 - (5) 2012年春, 東京スカイツリー完成と同時に観光グッズとして, 販売される予定。
- (平成22年6月30日受付, 平成22年10月18日再受付)

文 献

- (1) 繊維流通研究会:新アパレル工学事典 388-391(1987)
- (2) 都立産業技術研究センター:繊維ハンドブック染色技術編 45-46(2005)
- (3) 都立産業技術研究センター:繊維ハンドブックニット技術編 10-20(2006)